

様々な世代の参加

この分野は、「遊びと学び」に関する要素のうち、環境まちづくりやそれにつながる活動を進めるうえで子どもから高齢者までの様々な世代の参加を対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

【子どもの参加】

「駄菓子屋と お花畑と秘密基地
学校終われば 子どもの天下」



【大学生の参加】

「大学生 みこしかついで集落を
地元の人と 酒酌み交わす」



【子育て期の参加】

「わが子ども 生まれて初めて考える
食の安全 身近な環境」

【壮年期の参加】

「かき氷 金魚すくいに玉せんや
おじちゃんお祭りありがとう」



【高齢者の参加】

「寄り合いで ええこと聞いたぞ若人が
わしらの知恵を 頼っとるがや」

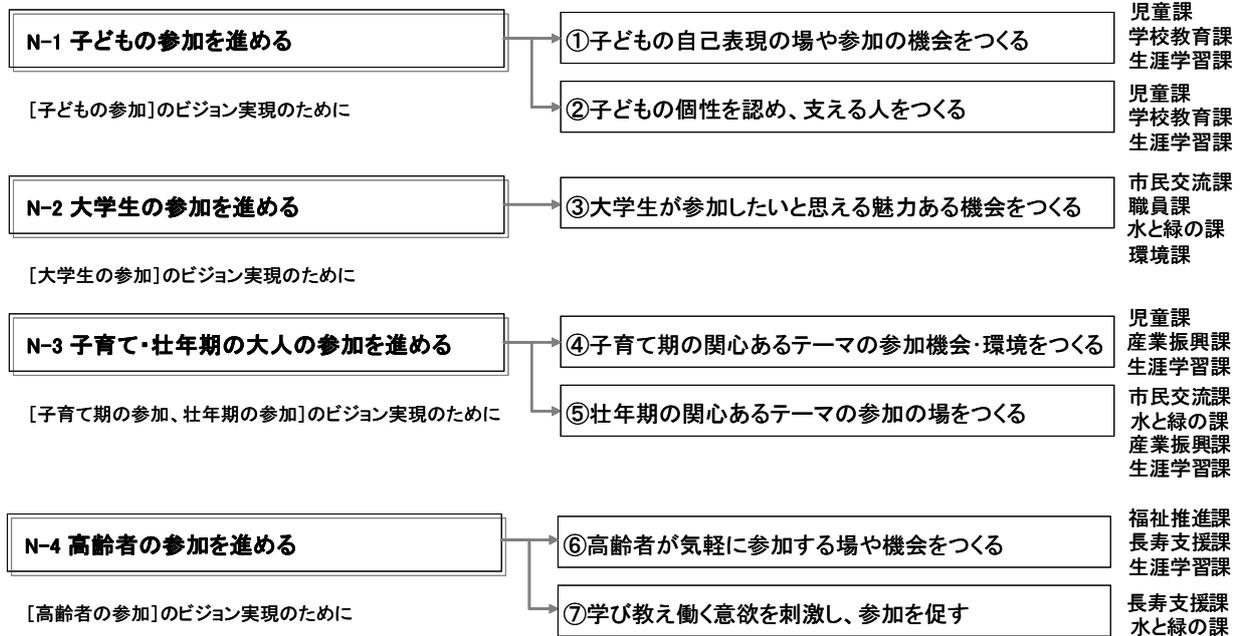
環境指標と数値目標

| NO. | 指標名 | 現状値[H.19] | | 短期目標[H.25] | 長期目標[H.35] |
|-----|---------------------------|-----------|---|------------|------------|
| N 1 | こどもプロジェクトへの参加こども数 | 178 | 人 | 210 | 300 |
| N 2 | 環境パートナーシップ協定 締結団体の会員数 | | 人 | 380 | 1,000 |
| N 3 | 講座・イベントにおける 年間述べ託児利用者数 | 240 | 人 | 350 | 500 |
| N 4 | 「にっしんのんびり村」への 年間述べ参加者数 | 451 | 人 | 10,000 | 80,000 |

「環境まちづくりビジョン」を実現するために！こうしていこう！



施策の体系



N-1 子どもの参加を進める

日進は子どもの多いまちと言われます。こうした特徴を捉えて、子どもと環境まちづくりをつないでいく取組として、子どもの個性を認め支える人をつくり、子どもがまちやコミュニティの中で遊んだり学んだりできる場や機会をつくっていきます。また、子どもも一人の市民とし環境まちづくりに参画し、その視点が活かされるようにしていきます。

[施策メニュー]

子ども達が自由に使える場づくり（自然の中で秘密基地的なプレーパーク）、近足⁴⁷・まち探索の推奨・機会づくり、安心して歩ける道（未舗装、あぜ、秘密の抜け道等）づくり、子どものたまり場（駄菓子屋、児童館、古民家など）づくり、日進の自然や遊びの絵本や番組の制作・普及（ケーブルテレビ等）、何かを収穫する楽しみ（みんなで農業体験、昆虫採集）づくり、大人と一緒に遊び学ぶ機会の創出、年上の子どもが年下の子どもに遊びを教える場・機会づくり、自然あそび塾の開設（大人も一緒に）様々な価値観を認めることのできる先生の採用・育成（民間からの採用、研修・評価制度の充実等）、自己表現をほめる雰囲気づくりのできる親の育成（育児サークルのプログラムの充実等）、子どもの活動の発表の場づくり（コンペ・夏休みの自由研究等）、遊びの達人の発掘・育成、子どもを見守る人づくり（農家、商店主等）、子どもの遊びと学びと参加を支えるNPOの設立

⁴⁷ 遠くに出かけて行く「遠足」に対して、自分たちの暮らすまちの魅力を知るために近くを歩こうという造語。

N-2 大学生の参加を進める

日進には、7つの短大・大学があり、市内には多くの学生が暮らしています。学生時代の豊かな発想や行動力を環境まちづくりに活かしていきます。

[施策メニュー]

学生エコ大賞の創設、家具・家電製品のリサイクルなど学生向けのエコショップの設立、学祭を活用した参加の機会づくり、市民と学生が連携した「まつり」の開催、市民大学講座の企画・運営等の促進、インターンシップ制度（地域活動を含む）の適正な運用、学生ボランティアの登録などの環境づくり

N-3 子育て・壮年期の参加を進める

子育て期・壮年期の世代は人口割合としては高いものの、それぞれ子育てや仕事に忙しい時期でもあります。こうした世代の関心を掘り起こし、横のつながりをつくっていく取組によって、環境まちづくりへの参加を進めていきます。

[施策メニュー]

料理教室、農業体験、生協・農協との連携によるスローフード思想の普及、環境を視野に入れた子育て支援（情報と場の提供）の充実
昼間地域に居られるようなコミュニティビジネスの充実、農のある暮らしの普及、囲炉裏を囲む寄り合いの場所づくり、にっしんのんびり村の設立、おやじの会の設立促進、一芸（仕事や趣味で得た技）を伝える場・機会の創出

N-4 高齢者の参加を進める

古き良き時代の環境にやさしい暮らし方や企業で培った様々な経験・知識など、高齢者は環境まちづくりを進めていくうえで貴重な人材です。こうした高齢者が活躍できる場や機会をつくり、共に遊び学ぶことを進めていきます。

[施策メニュー]

寄り合いのできる場所づくり、高齢者の組織・関心の実態調査と活用（高齢者組織名簿づくり等）、世話役・連絡役などの組織や人の育成・支援、高齢者へ向けた情報発信・参加の呼びかけ
シニア市民環境大学の創設、既存の講座の環境まちづくり面での充実、総合学習での講師養成・機会づくり、シニア環境技術者集団の育成と活用、シニアコミュニティビジネスの立ち上げ支援